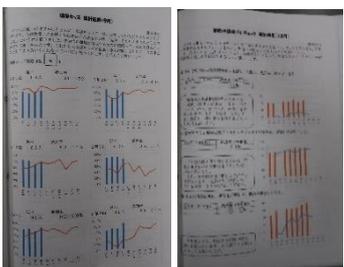


令和元年度（2019年度）学校版環境ISOへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
芦北	芦北町	佐敷小学校

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p><b>【児童】</b>（各教室、環境コーナーに掲示）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃やすゴミとプラスチックゴミは、分別して出します。</li> <li>電気や水の無駄づかいをしません。</li> <li>持ち物すべてに名前を書き、最後まで大切に使います。</li> <li>身の回りに落ちていたるゴミは、自ら進んで拾います。</li> <li>トイレトペーパーや石けんなど、資源を大切に使います。</li> </ul> <p><b>【職員】</b>（職員室に掲示）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常に学校全体の教育環境に気を配り、行動し、児童の手本となります。</li> <li>燃やすゴミと容器包装プラスチックゴミの分別に努め、児童に呼びかけます。</li> <li>不要な印刷は控え、裏紙を活用して、紙の消費を抑えます。</li> <li>照明が不要な時は、スイッチをこまめに消します。</li> <li>エアコンの設定は、夏季は27度、冬期は18度にします。</li> <li>各学級、栽培活動や飼育活動に取り組み、豊かな心を育みます。</li> </ul>
行動		<p>① ISO宣言の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ISO宣言に関する内容を呼びかける掲示物を環境ISO委員会で作成し、廊下に掲示した。（ゴミの分別・水の無駄づかい・物に記名・無言清掃）</li> <li>本校で統一した「燃やすゴミ」と「ハイプラ」のラベルをゴミ箱に貼り、各教室に設置している。</li> <li>燃やすゴミとハイプラの分別の意識化を図るため、「グリーンカード」の取組を行った。              緑 … きちんと分別することができている。              黄 … ハイプラの中に異物が少し混ざっている。              赤 … 分別できていない。</li> <li>環境コーナーに「分別ステーション」を設置し、学校で出たゴミは種類毎に分別をしている。</li> </ul>

		<p><b>②環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境キッズ … 毎週木曜日の7時50分から8時まで、児童主体による落ち葉拾いや花の植え替えなどの校内美化活動を行っている。毎回の参加人数は平均220人を超え、環境ISO委員会の目標である250人以上の参加を今年度初めて達成することができた。</li> </ul> <p><b>③植物栽培活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級園と学校園を活用し、季節の野菜を育てた。</li> <li>・芦北町のグリーンカーテンコンテストに参加した。校内に当たる直射日光を避けるため、屋上からネットを張ってゴーヤを育てた。</li> <li>・環境ISO委員会と栽培委員会の共同活動として、「コメリ緑資金ボランティア」に参加し、学校園に花を植えた。</li> </ul>
<p>記録</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週金曜日の放課後、「佐敷小ISO宣言に取り組むことができているか」について環境ISO委員会がチェックを行い、課題を担任に伝えている。</li> <li>・月末に「学校版環境ISO宣言（職員版）」について、職員がチェックカードを用いて振り返り、結果を記録している。</li> </ul>
<p>見直し</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月末に各学級の「環境キッズ」への参加状況と「学校版環境ISO宣言」の集計結果を職員に配布している。「環境キッズ」については、参加率の高かった上位3学級に感謝状を贈り、意欲の向上を図っている。「学校版環境ISO宣言」については、集計結果とともに課題を挙げ、職員全体で共通実践を行っている。</li> </ul>

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校版環境ISO宣言」の集計結果だけでなく、課題となる箇所を提示して共通実践してきたため、全項目の達成率が7割以上となり、昨年度に比べて高くなった。</li> <li>○毎月の用紙購入量（使用量）の数値を事務主幹に出してもらい、職員全体に呼びかけ続けたため、昨年度より購入量（使用量）を削減することができた。</li> <li>○今年度新たに取り組んだ「グリーンカード」により、自らゴミ箱の中をチェックし、分別に努める児童が出てきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分のものに記名することが徹底できていないため、落とし物の持ち主が分からないことがある。学校の共通実践として、記名についても指導を徹底する必要がある。</li> <li>●「佐敷小ISO宣言」について更なる意識の向上のため、児童に学校の環境に関する課題と解決策を考える機会を設定する必要がある。</li> </ul>